



富本小新聞

学校通信

令和4年度 No.6

令和4年9月1日

村山市立富本小学校

学校教育目標 「自ら学び 共に高め合う子」～気づく・考える・行動する～

前期後半の始まり 前期のまとめと振り返り 大きな伸長のために

夏休みがおわり、8月22日(月)から前期後半がスタートしました。夏休み中は事件や事故がなく、いつもように大きなあいさつとともにみんな元気に登校しました。子どもたちの顔を見ると、ひとまわりたくましくなったように感じました。

前期後半は、8/22から10/7までの期間になります。8/22の全校朝会で「めざす子ども像」を達成するために、新たに子どもたちに次のことをお願いしました。

(1)進んで学ぶ子ども【確かな学力】勉強大好き

- ①聞き合い教え合いを充実すること ②継続して自学ノートを取り組むこと
- ③積極的にタブレット(パソコン)を活用すること

(2)思いやりのある子ども【豊かな心】友達大好き

- ①良さを認め合うこと ②励まし合うこと ③今よりも高め合うこと

(3)健康でたくましい子ども【健やかな体】運動大好き

- ①早寝早起き朝ご飯を励行すること ②悩みや不安は軽いうちに相談すること
- ③毎日希望をもって登校すること

前期終了まで47日間の期間です。この期間をさらに子どもたちを伸ばす期間ととらえ、取り組んで参ります。コロナ禍の中ではありますが、感染対策を行いながら、「もっとできる まだまだできる」を合言葉として、保護者の皆様や地域の方々のご理解ご協力のもと、教職員一丸となり教育活動を実践して参ります。

森林学習 いよいよまとめの時期になります

今年度も本校では全校あげて森林学習に取り組んでいます。森林アドバイザーの杉原悟さんと鈴木秀伸さんのご指導のもと、夏休み前までに各学年1回ずつ森林学習を行いました。1・2年ネイチャーゲーム、3年ねんど山観察、4年ねんど山で「自分の木」を見つける、5年森林の働きを知る・はしづくり、6年学校林の間伐作業体験。このように学習内容は子どもたちの実態に応じて取り組みました。

特に、6年の森林学習では、北村山森林組合や石川製材所の皆様のご協力を得ながら、実際にスキー場のゲレンデに植生している杉の木をチェーンソーで切り倒す作業を見学し、倒れるときのすごさや怖さを体得してから間伐作業を行いました。

今後は、倒木した杉の木を活用してベンチづくりや時計づくりのほか、秋の森林を利用して創作活動に取り組みます。

なお、本校では、むらやま木育普及促進協議会の支援を受けながら「木育」教育にも取り組んでいます。



子どもたちの活動の様子を紹介します【7・8月】

7月5日(火) 森林学習(5年生)

「マイはし」づくりに挑戦!!

カンナで削るところから始め、はしの形に仕上げました。



7月20日(水) 市内巡り(3年生)

社会科の学習で村山市の学習をしました。市内のどこに、どんな施設や建物あるのか、土地の高さや周りの様子はどうなっているのかを確認しながら巡りました。

東沢バラ公園



村山駅



じゅんさい沼

7月15日(金)

授業参観・PTA 教育研修会・学級懇談会



1年:音読劇発表



2・3年:おうちの人と一緒に作品づくり



4・5年:総合的な学習 発表会



6年:タブレットを使った学習



7月6日(水)

民生委員児童委員教育懇談会

委員のみなさんと顔合わせをして、情報交換を行いました。各学年の学習の様子も参観していただきました。



<PTA 教育研修会>

講師に山形県家庭教育アドバイザーの笹原英子先生をお迎えして、『子どものやる気を伸ばす大人のかかわり方』というテーマで講演をしていただきました。子どもたちへの言葉かけのポイントやプロセスと努力を認めることなど、大切なことをたくさん教えていただきました。



8月3日(水) 緑の少年団交流会

村山市内の小学校から代表児童が集まっての交流会がありました。植物の葉っぱを採集し、葉っぱのスタンプをしてエコバックを作りました。

